

市町村学校組織力向上計画(平成31年度版)

(佐伯市)教育委員会

1 平成30年度の取組状況	
<p>ア 学校評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 4月3日「校長等仕事始め式」において、「芯の通った学校組織推進プラン」第2ステージ～大分県版「チーム学校」実現プラン～に係る平成30年度に向けた取組方針について(通知)の基本的な考え方、取組方針について共通理解を図り、学校マネジメントと授業改善による学校の教育活動の質の向上を図るよう指導。 ○ 年間3回以上の学校自己評価の実施と、年間2回以上の学校関係者評価の実施により、短期のPDCAによる学校運営の検証・改善。 <p>イ 学校運営体制</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「学校説明書」の提出及び定期学校訪問・教育長ヒアリングの実施により、運営委員会や職員会議の持ち方、ミドル・アップダウン・マネジメントの実働状況等について把握するとともに必要に応じての指導。 ○ 以下の点を、校長会、教務主任会議及び研究主任研修で指導。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 進行管理の徹底による短期PDCAでの学校運営の検証・改善。 ・ 目標の連動と、「チーム学校」の推進。 <p>ウ 学校・家庭・地域の協働の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 地教法に基づくコミュニティ・スクール(以下、CS)として5中学校区を指定し、学校、家庭、地域の教育の協働を推進。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校・家庭・地域が児童生徒の状況や学校の課題・目指す方向を共有しそれぞれの取組を進めるための学校運営協議会を実施。 ○ 協育コーディネーター(14人)の積極的な活用による教育活動の充実。 <p>エ その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「新大分スタンダード」を核とした授業改善を、全ての小・中学校で徹底。特に、中学校においては、「中学校学力向上対策3つの提言」を柱に、タテ持ちや生徒による授業評価を生かした授業改善を推進。 	

2 平成30年度の取組の検証

達成指標及び取組指標	達成状況
<p>達成指標</p> <p>「学校マネジメント4つの観点」で各学校の全ての項目の評価がA以上になる学校の割合 小学校 100% 中学校 100%</p>	<p>小学校 95%(18/19校) 中学校 92%(11/12校) ※ 第2回学校訪問による集約 (小学校1校が学校事情により訪問を3学期としている)</p>
<p>取組指標①</p> <p>中学校区内において、小中連携、小中一貫の観点から、重点目標の共有や重点的取組の組み合わせや見直しを行った学校の割合 小学校 53%(10/19校) 中学校 67%(8/12校)</p>	<p>小学校 63%(12/19校) 中学校 75%(9/12校)</p>
<p>取組指標②</p> <p>「学校運営協議会」の取組として、家庭、地域の主体的な活動により、重点目標の達成に近づいたと評価する学校の割合 小学校 83%(10/12校) 中学校 80%(4/5校)</p>	<p>小学校 38%(3/ 8校) 中学校 50%(2/ 4校)</p>

3 成果	
<p>ア 学校評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 全ての学校において、学校の喫緊の課題を踏まえた重点目標の設定と、具体的な頻度等を書き込んだ取組指標が設定され、学期ごとの客観的なデータによる取組状況の確認や達成指標に基づく達成状況の確認がなされ、短期のPDCAによる検証・改善がより図られた。教育活動の質の向上が図られている。 ○ 佐伯教育事務所と連携し、定期学校訪問を中心に継続的な指導支援を図ることができた。 <p>イ 学校運営体制</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 客観的なデータに基づく検証を意識し、取組状況の確認や達成状況の確認を行いつつ、重点目標達成に向けた組織的な取組が進んでいる。 ○ 特別支援教育支援員や図書館支援員、IT指導員、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー等の専門性を活用できる体制が構築され、個別課題への組織的な取組が進められている。 <p>ウ 学校・家庭・地域の協働の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ CSの対象校5中学校17小・中学校(鶴谷中校区・佐伯南中校区・昭和校区・米水津中校区・蒲江翔南学園校区)において、学校運営方針の承認に基づく着実な取組が進められた。 <p>エ その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ CSについては、H31年度から全中学校区を対象校区として、全市的な教育の協働を展開予定。 	

4 課題(平成31年度に向けて)

<p>ア 学校評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 引き続き、重点目標達成に向けた「チーム学校」による取組を進める中で、学校組織マネジメントと授業改善による各学校の教育活動の質の向上を図る。そのために、学校評価の4点セットを核として、短期PDCAを可能にする各指標の設定と検証・改善のシステムの深化が求められる。 <p>イ 学校運営体制</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学校組織マネジメントと授業改善による重点目標の達成に向け、教務主任を中心とした主要主任の連携や各分掌の進行管理の徹底を図る必要がある。 ○ 組織的で効率的な学校運営を進めるために、出張や事務的な業務の精選等、教職員の働き方の見直しによる超過勤務の削減に向けた取組が必要である。 <p>ウ 学校・家庭・地域の協働の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ CSと「協育ネットワーク」を基盤とした地域学校協働の連携の在り方について、市としての方向性が必要となっている。併せて、市が進めてきた小中一貫教育やふるさと創生事業とのCSの関連性についても、これまでの検証とこれからの方向性を示す必要がある。 <p>エ その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 教職員の働き方改革が急務となっている。組織的で効率的な取組が負担軽減にまでつながる取組に結びついているかの検証も必要。
--

5 平成31年度の行動計画	
<p>ア 学校評価の改善</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 引き続き、重点目標達成に向けた「チーム学校」による取組を進める中で、学校組織マネジメントと授業改善による各学校の教育活動の質の向上を図る。そのために、学校評価の4点セットを核として、短期PDCAを可能にする各指標の設定と検証・改善のシステムの深化に取り組む。 <p>イ 学校運営体制の充実(主幹教諭の活用を含む)</p> <p>以下の点を、校長会、主要主任の会議や研修等で指導する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学校組織マネジメントと授業改善による重点目標の達成に向け、教務主任を中心とした主要主任の連携や各分掌の進行管理の徹底を図り、教育活動の質の向上を進める。 ○ 特に主幹教諭については、主幹教諭連絡会(年3回)により、職務と責任の自覚を図るとともに、ミドルリーダーの中核としての各校での役割や動きについて意見交換を行い、資質向上を図る。また、教務主任会議において、自らの実践をもとに、他校への指導助言等を行う。 (配置校予定:6校(12学級以上) 佐伯小・渡町台小・鶴岡小・上堅田小・鶴谷中・佐伯城南中) ○ 組織的で効率的な学校運営を進めるために、「チーム学校」の視点を継続し、専門性に基づくチーム体制の構築や、教職員一人一人が力を発揮できる環境整備を図る。併せて教職員の働き方についても、学校マネジメントの質の向上を図り、見直しに取り組む。 <p>ウ 学校・家庭・地域の協働の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ CSについては、H31年度から全中学校区を対象校区として、全市的な教育の協働を展開する。 ○ CSと「協育ネットワーク」の連携の在り方について、またこれまで取り組んでいる小中一貫教育やふるさと創生事業との関連性についても、方向性を示し、学校、家庭、地域の協働体制の構築を図る。 <p>エ その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 引き続き「新大分スタンダード」に沿った授業改善を、全ての小・中学校に徹底する。特に、中学校においては、「中学校学力向上対策3つの提言」を柱に、タテ持ちや授業評価を生かした授業改善に取り組む。 	

6 平成31年度の達成指標及び取組指標

達成指標	取組指標①	取組指標②	達成指標(共通)
「学校マネジメント4つの観点」が、全てA評価以上の学校の割合 100%	中学校区内において、小中連携、小中一貫の観点から、重点目標の共有や重点的取組の組み合わせや見直しを行った学校の割合	「学校運営協議会」の取組として、家庭、地域の主体的な活動により、重点目標の達成に近づいたと評価する学校の割合	学校評価に基づく改善策に関する家庭・地域との協議の実施率
「学校マネジメント4つの観点」が、全てS評価の学校の割合 30%	小学校 79%(15/19校) 中学校 83%(10/12校)	小学校 53%(10/19校) 中学校 50%(6/12校)	小学校 100% 中学校 100% (H30年度) 小学校 84% (16/19校) 中学校 83% (10/12校)